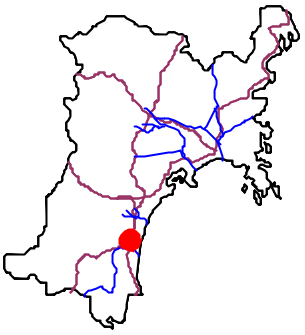
**強い東北の創造**　**グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備**

**事業名**　仙台空港アクセス鉄道整備事業（直轄）
（宮城県名取（なとり）市）

| **事業着手：平成14年度** | **完成・供用の目標年度：平成１８年度供用予定** |
|---|---|

**事業の必要性・事業の概要**

宮城県



**「事業の必要性」**

**現在、仙台空港までのアクセスは道路交通に依存しているため、渋滞等によっては定時性・高速性の確保が難しく、東北各地からの利用者のニーズに対応し、アクセス手段の多様化、定時性、高速性の確保が求められています。**

**「事業の概要」**

仙台空港までの利便性の向上を図るため、定時性、速達性、広域性に優れ、かつ大量輸送が可能なアクセス鉄道の整備を行う事業です。

直轄事業では、空港敷地内におけるアクセス鉄道の基盤整備を行い、平成18年度の供用を目指します。




◀空港敷地内
アクセス鉄道整備区域
（直轄：約1．1km）

アクセス鉄道（直轄及び三セク）
▼事業全体図（延長約7．1km）




**平成１７年度事業費及び事業内容**

○事業費：960百万円
○平成18年度の供用を目指し、擁壁部、ＰＣ下路桁部（高架橋部）の整備を進めます。

**事　業　効　果**

○　JR仙台駅から仙台空港間で現行約40分が、アクセス鉄道を整備することにより普通列車で約１７分、快速列車で約23分の短縮が図られ、仙台空港利用者の利便性が向上します。